

2017

10-11 月

はしかけニューズレター

2017 年度 第 4 号 通巻 137 号

2017 年(平成 29 年)10 月 1 日 発行



編集・発行: 滋賀県立琵琶湖博物館 交流担当 (はしかけ担当職員: 戸田・大塚・下松・八尋・松村
住所: 〒525-0001 滋賀県草津市下物町 1091 電話: 077-568-4811 ファックス: 077-568-4850
電子メール: hashi-adm@lbm.go.jp 琵琶湖博物館ホームページ: <http://www.lbm.go.jp/>

(注意) 11 月よりメール アドレス および HP アドレスが変更になります。巻尾 5 - (1) をご覧ください。

～ 目 次 ～

1. 来館者 1000 万人突破の記念式典
2. 「はしかフェ」のご案内
3. はしかけグループの活動報告と活動予定
 - (1) うおの会 (2) 淡海スケッチの会 (3) 近江はたおり探検隊 (4) 大津の岩石調査隊 (5) 温故写新
 - (6) くらしをつづる会 (7) 古琵琶湖発掘調査隊 (8) 湖(こ)をつなぐ会 (9) ザ! ディスカバはしかけ
 - (10) 里山の会 (11) 植物観察の会 (12) たんさいぼうの会 (13) 田んぼの生き物調査グループ
 - (14) タンポポ調査はしかけ (15) 琵琶湖の小さな生き物を観察する会 (16) びわたん
 - (17) ほねほねくらぶ (18) 緑のくすり箱 (19) 森人 (20) ちっちゃなこどもと自然であそぼう(ちこあそ)
 - (21) 近江 巡礼の歴史勉強会 (22) 虫架け
4. 生活実験工房からのお知らせ
5. その他の事項

会員数 … 334 人

グループ数 22 グループ

(2017 年 9 月 15 日現在)

1 開館21年目、来館者1000万人突破！喜びにわく記念式典！

おかげさまをもちまして、夏休み中の 8 月 17 日(木)に、琵琶湖博物館開館以来のべ 1000 万人目の来館者をお迎えすることができました。これまで節目の来館者は滋賀県外の方ばかりという妙なジンクスがあったのですが、今回も名古屋の方で、ジンクスが続きました。確かに琵琶湖博物館の来館者は、6:4 くらいで県外の方が多いのですが、それにしても、ことごとく県外の方が当たるというのも面白い話ですね。

琵琶湖博物館は、県立の博物館ですが、県外にも目を向けています。それは、「琵琶湖地域に関わる自然と暮らし」をテーマとしており、琵琶湖地域について考えようと思ったら、どうしても下流域すなわち「淀川流域全体」との関係を考えざるを得ないからです。そのため、構想段階から京阪神地域の方々にどうやって目を向けていただくかを考えていたのですが、実際に開館してみると、水域が繋がっていない三重県(伊賀地方を除く)、愛知県、岐阜県、福井県の方々にも多く利用していただく結果になりました。



1000 万人目の記念品などを受け取る寺井君

琵琶湖博物館に来館していただく県外の方には、「県内への帰省者」も多いのです。今回 1,000 万人目となった名古屋の方も、滋賀県に帰省された折の来館でした。琵琶湖博物館で扱っている「自然に関わる暮らし」は「昔ながらの暮らし」と関連が深いので、帰省の際の恰好の話題となるのかもしれませんが。

また、「自然と暮らし」に関わる琵琶湖博物館の成果発信は、はしかけ活動にも大いに支えられています。今後ともよろしくお願ひします。

(学芸員: 戸田 孝)

2. 「はしかフェ」のご案内



第4回目は 10/15 (日)
「広がる交流活動の可能性を考える」

ぜひご参加ください！！

こんなはしかけ会員のみなさんにおすすめ

- ・もっと活動、発信の場が欲しいグループ
- ・はしかけ登録したけれど、具体的に何をしようか悩んでいる方
- ・新しいグループを作りたい方。
- ・びわ博の交流活動に要望のある方
- ・びわ博でのいろいろなイベントと一緒にやってみたい方
- ・他のはしかけさんや学芸員と交流したいと考えている方

いよいよ、琵琶湖博物館では第2期リニューアル工事が始まります。第2期の目標は、「交流空間」のリニューアル。琵琶湖と森を感じる屋外展示「樹冠トレイル」、大人も楽しむ知的空間「おとなのディスカバリー」、小グループ向け体験展示空間「わくわく体験スペース」など新たな展示が誕生します。そこで、新展示によって広がる交流空間を有効活用するために、あらたな交流活動と一緒に考え、一緒につくる場「はしかフェ」をオープンしています。

第4回はしかフェでは、第2期リニューアルのひとつ、小グループ向け体験展示空間「わくわく体験スペース」について紹介します。はしかけの皆さんと、あらたな展示空間を活動でどう使うことができそうか、一緒に考えていきたいと思います。

「はしかフェ」は、はしかけ会員であれば誰でも自由に参加でき、様々な意見を出し合って、一緒に新しいことにチャレンジしていくための場です。この機会を使って、カフェでくつろぐような雰囲気の中で、普段会わない違うグループのはしかけの皆さん同士の間にも交流が生まれればうれしく思います。是非、お気軽にお越しください



対 象：2017年度はしかけ登録者

日 時：10月15日(日) (はしかけ登録講座開催日) 15:30～

場 所：生活実験工房

内 容：わくわく体験スペースの概要説明、博物館での交流と活動についての悩み事 + 雑談

参加方法：当日参加OK (ご参加を予定しているかたは、事前にご連絡ください)

担 当：はしかフェ事務局 妹尾

連絡先：電子メール: hashi-adm@lbn.go.jp 電話: 077-568-4811

【活動予定】

① 10月15日(はしかけ登録講座開催日)

② 12月20日

③ 3月11日(はしかけ登録講座開催日)

※予定は、変更になる場合があります。

(妹尾裕介)

3. はしかけグループの活動報告と活動予定



(1) うおの会

【活動報告日の活動会員数(のべ) 47 名】

グループ代表アドレス: uonokai@lbm.go.jp

グループ担当職員: 松田征也

【活動報告】

■7月8日(土) びわ博フェス出展

参加者: 親子連れなど約 150 名 参加会員: 16 名

7月8日(土)は定例調査ではなく、琵琶湖博物館の「びわ博フェス 2017」への参加で、うおの会は昨年と同じく「お魚キーホルダーを作ろう!」を実施しました。準備のためのスタッフ集合時間は11時だったのですが、なんと時間前には大方の準備が終了しているという、実に幸先のよいスタートとなりました。

午後からのイベント本番は各回24人参加の全3回で行い、大人気の大盛況!参加受付もアッという間に終了し、泣く泣くお断りした方も多数いらっしゃいました。参加者も多かったのですが、今年は例年と違い、なんと新聞社が4社も取材に来ました。これにはスタッフもびっくり。記者さんは参加者や会長に熱心にインタビューされていました。

参加者のみなさんは、思い思いの作品を一生懸命作って、うれしそうにお魚キーホルダーを持って部屋を後にされていました。また今回は大人の方の参加も多数見受けられ、幅広い年代の方楽しんでいただけました。

あっという間にイベントも終わり、反省会では「もう一回あってもできた」「もっと参加者を増やしたい」と、同イベント数年目の余裕も見えました。来年もあるのなら、もっと手際よく、たくさんの人が参加できるイベントになりそうです。
(報告 竹元研矢)

■7月16日(日) 第128回定例調査

場所: 日野川中下流

参加会員: 19 名

7月16日に今年度4回目の定例調査が日野川中下流域で行われました。梅雨明け切らぬなかでの調査で、当日も午後から雨予報のため、いつもより早い13時までで調査を実施しました。

日野川中下流は川に近づくポイントが少なく、川幅も広いので川に入ってもなかなか遊泳魚を捕まえるのは難しく、みなさんヨシノボリの稚魚をたくさん掬っておられる状況でしたが、以下の魚種を確認しました。

アユ、アカザ、ギギ、ナマズ、ドジョウ、シマドジョウ類、オイカワ、イトモロコ、カマツカ、カワムツ、タモロコ、フナ類、コイ、ニゴイ、ムギツク、モツゴ、ヨシノボリ類、ウキゴリ、カジカ類、メダカ、オオクチバス、ブルーギル、ヌマチチブ

また、雨の前触れで気温が下がるかと思いきや、調査が始まると日差しがみられ、気温も30度を超える暑さでした。今回一部の班では、熱中症を心配して早めに調査を切り上げておられました。今後も体調管理と事故には十分気を付けて楽しい調査を続けていきたいです。

※ 調査の4日前に今回調査を実施した日野川で、水難事故が発生しています。河川の水位は、自分の周りで雨が降っていなくても、上流に雨が降ったときなど、急に増水することがあります。川に入るときは周りの状況に十分注意してください。
(報告 福永和馬)

■9月9日(土) 三重県総合博物館 MieMu 見学会

参加会員: 12 名

9月9日(土)、三重県総合博物館 MieMu の見学会を実施しました。ここは2014年に移転開館した、とても綺麗な博物館です。始めに学芸員の方にバックヤードを案内して頂きました。整理中の古い標本や、飼育水槽に食いつく会員たち。収蔵庫では、ここだけで一日過ごせそう、との声もあがっていました。バックヤード見学の最後は、搬入用の巨大なエレベーターで展示室のある3階へ。繊細な展示物を運ぶため、全く振動を感じないエレベーターでした。

常設展示は魚類の展示こそ無いものの、地学、人文、自然、と充実した展示を、解説を交えて見学しました。感想や意見を書き込むコーナーがあったので、すかさず「水族展示求む」と記入。一番気になったのは、伊勢詣りの展示コーナーにあった饗応料理「御師御膳」に、尾頭羽毛付きのシガラシキ鳥がそのまま乗っていたこと。皆さんと色々話しましたが、結局どういうことか分からず。(誰か知ませんか?)

見学後にはMieMu ミュージアムパートナーの皆さんの活動紹介と、互いの活動やフィールドについて、情報交換の時間となりました。採集、記録だけでなく、標本作成から登録まで実施されていると聞き、うおの会も2000年代前半には標本を作成していたので、今の時代の標本を残す必要があるのではないか、との声が会員からあがりました。

レベルの高い活動、それを支える熱意、滋賀とは異なるフィールドの情景など、とても刺激を受けた一日でした。快く受け入れて下さった学芸員の皆さん、ミュージアムパートナーの皆さんに、深く感謝です。(報告 中尾博行)

【活動予定】

- 10月7日(土) イタセンネット見学会 (淀川)
- 10月15日(日) 第130回定例調査 (安曇川)
- 11月19日(日) 第131回定例調査 (法竜川)



(2) 淡海スケッチの会

【活動報告日の活動会員数(のべ)3名】

グループ代表アドレス: sketch@lbn.go.jp

グループ担当職員: 篠原徹, 榎永一宏

【活動報告】

- 7月23日(日) 風景スケッチ 場所: 水生植物園(草津) 参加会員: 3名
- 8月27日(日) 藤樹のさと 場所: 安曇川 ⇒ 猛暑の為、延期

※ 9月24日(日)の活動については次号にて報告の予定です。

【活動予定】

- 10月22日(日) 水ヶ浜(近江八幡市)
集合場所 シャーレ水ヶ浜 駐車場
集合時間 9月24日、ミーティング時に相談の上、決定します。
※ 晴れていたら、シャーレ水ヶ浜店内よりロマンチックな夕日を眺めることができます
- 11月26日(日) 曾根沼(彦根市)
集合場所 現地駐車場
集合時間 10時30分 (15時ごろ解散予定)

◎ 初めて参加される方は080-5709-8634(金山)までご連絡ください

(3) 近江はたおり探検隊

【活動報告日の活動会員数(のべ)7名】

グループ代表アドレス: oumihataori@lbn.go.jp

グループ担当職員: 渡部圭一

【活動報告】

《織姫の会》

- 7月26日(水) 参加会員: 2名
地機織り3人目を始めました。
- 9月13日(水) 参加会員: 3名
地機織り継続。かなり経糸が少なくなってきたので、もうすぐ終わりそうです。



9月13日地機織り

《その他》

■7月22日(土)

田上てぬぐい展見学

参加会員:2名

大津市歴史博物館で開催された田上手ぬぐい展を見学しました。手ぬぐいはどれも同じような模様だと思っていたが、種類が多くて驚きました。それ以外にもミハバマエダレや野良着なども展示しており、勉強になりました。

【活動予定】

《織姫の会》

■9月30日(土)

■10月11日(水)

■10月8日(土)

■11月18日(土)

■11月29日(水)

■12月9日(土) びわたんと共催「綿に触れてみよう」

(注意) 前回お知らせした予定と日程が変わっています。



(4) 大津の岩石調査隊

【活動報告日の活動会員数(のべ) 17名】

グループ代表アドレス: ganseki@lbm.go.jp

グループ担当職員: 里口保文

【活動報告】

■7月28日(金) 10:00-16:00

薄片実習録

両日で参加会員: 延7名

薄片作成: 一時研磨、貼り付け、二次研磨を行った。追加の二次研磨は8/23に実施した。

■8月18日(金) 10:00-14:35

自主勉強会

参加会員: 10名

博物館内で勉強会を実施した。午前の部は、隊員の報告と顧問の中野さんの報告、午後の部は当隊担当の里口さんの博物館の研究セミナーについて聴講した。

1) 隊員(梅澤)の報告

『大津市・相模川の流れの直角的な曲折と岩盤に穿たれた一見人工的な流れに対する説明のための Just Idea』
相模川の下流域で流れが不自然に直角的に曲がっている場所と、人工的に作られたように川幅が均一な部分がある。それに対する一つの仮説を作るための私案をまとめた。こうした特異な流れができた原因は層理と断層の組み合わせと、その部分に存在するクラックの生じやすい岩石の3者の複合要因であるとの仮説を立てた経緯について述べた。

2) 中野さんの報告: 『琵琶湖コールドロンと巨大なマグマ溜まり』

巨大なコールドロンという物の研究では滋賀県は先輩格である、ご自身もそのメンバーであった中野さんから膨大な報告があった。地下のマグマに関しては他のカルデラも含め幾つかの報告があった。この間、多方面からの質問や議論もなされた。研究調査報告 26号(2011年3月)はPCからも見る事ができる。

琵琶湖コールドロンに関する資料もある。その他の色んな資料がカラーで見ることができる。

3) 里口さんの報告: 『下部・中部更新境界の模式地提案と層準付近の火山灰層』

里口さんの研究テーマの一つであり、最近マスコミにも登場するチバニアンに関する報告を述べられた。チバニアンの特徴の一つは、「地球磁場逆転地層」として既に Google Map に記載されているとのこと。里口さんはこの千葉県市原市の地層を「Chibanian」として登録させるべく、火山灰Gの一員として、上総層群における火山灰層の重要性を関係機関に納得させる資料を作るとのこと。

【活動予定】

■9月

行事なし。

■10月15(日) 大津市の中沢晶洞 雨天延期の場合は10/22(日)

■11月12(日) 高島市の「石田川〜百瀬川付近の調査



(5) 温故写新

【活動報告日の活動会員数(のべ) 5名】

グループ代表アドレス: onkosyasin@lbn.go.jp

グループ担当職員: 金尾滋史

【活動報告】

■8月19日(土) 9:30~12:00

大橋コレクション整理作業

参加会員: 5名

大橋コレクションの活用を目指した写真の整理作業をおこないました。これまでに温故写新でチェックをした枚数はおおよそ3000枚。作業の後半には、将来的にこのコレクションと私たちの活動をどのようにまとめていき、活用していきたいかという構想も話し合い、具体的な案も出てきました

■9月24日(日) 9:00~16:00

おでかけ撮影会 ~能登川・伊庭の風景編~

※活動の詳細は、次号にて報告の予定です。

【活動予定】

温故写新では、皆様からのご依頼があれば、博物館主催行事やはしかけグループ活動での記録写真などの撮影協力を行ないます。必要な方は温故写新担当学芸員(金尾)へご連絡ください。

ただし、メンバーの日程の都合上、ご協力できないこともありますので、ご了承ください



(6) 暮らしをつづる会

【活動報告日の活動会員数(のべ) 0名】

グループ代表アドレス: kurashi@lbn.go.jp

グループ担当職員: 渡部圭一

【活動報告】

活動がありませんでした。

【活動予定】

未定です



(7) 古琵琶湖発掘調査隊

【活動報告日の活動会員数(のべ) 11名】

グループ代表アドレス: hakkutsu@lbn.go.jp

グループ担当職員: 山川千代美

【活動報告】

■8月6日(日) 13:30~16:00

微小な化石の水洗抽出実習

場所: 実習室1

参加会員: 11名

化石を泥のかたまりから探す際、普段の活動では、泥を小さく割って、その断面を見ながら化石を探しているのですが、注意深く探してみても、数mmほどの小さな化石は見落としてしまうことが多いです。このような小さな化石の中にも重要な化石が含まれているかもしれないので、今回の実習では、泥のかたまりを水に溶かして微小な化石を見つける方法を学びました。

久しぶりの屋内活動だったのですが、いつもよりも多くのメンバーが集まり、とても賑やかな勉強会になりました。泥が水に溶けやすくなるまで待っている間(様子を見ながらワクワクして待ちます)、講師の先生から説明を受け、その後、作業を行いました。実習室のテーブルをかこみ、メンバー各自が実際にやってみながら、よりうまくできる方法を工夫し、その場で教えあったりしたので、何度か行いうちに少しずつコツをつかむことができました。

今回の実習では、3mmほどの魚の歯の化石や植物の種子の化石が見つかり、顕微鏡で観察をしました。新しい研究手法を学ぶと、これまで以上の多くの化石を調べられる可能性が広がります。今後の活動に向けて、とてもよい勉強会になりました。

【活動予定】

■9月16日(土) ~30日(土)

「多賀町古代ゾウ発掘プロジェクト」第五次発掘調査に参加



(8) 湖(こ)をつなぐ会

【活動報告日の活動会員数(のべ) 4名】

グループ代表アドレス: ko-tunagu@lbm.go.jp

グループ担当職員: 林竜馬

【活動報告】

■9月3日(日)

場所: アトリウム

参加会員: 4名

夏休みも終わり、二学期が始まったばかりの日曜日でしたが、家族連れで博物館はたいそう賑わっていました。おかげで紙芝居には2回ともたくさん子どもたちが集まってくれ、いつもよりは少し大きい幼稚園年長さんが多数でした。そうすると、色々な話をした時の受け答えもかなりしっかりしていて、楽しい時間でした。最後に合唱する「生きている琵琶湖」もなかなか一緒に歌うところまではいきませんが、リズムにのって楽しんでくれました。

【活動予定】

■12月10日(日) 13:00～

紙芝居上演

集合場所: 交流室2



(9) ザ! ディスカバはしかけ

【活動報告日の活動会員数(のべ) 1名】

グループ代表アドレス: hashi-discov@lbm.go.jp

グループ担当職員: 澤邊久美子, 森智美, 片淵綾香

暑い夏もあっという間に終わりました。ディスカバリールームでは今年もカイコがすくすく育って卵をうみました。また来年生まれるまで楽しみです。

2017年12月以降リニューアル閉室中も活動予定です!

【活動報告】

活動内容	実施日	タイトル	内容
打合せ	8月9日(水)	イベントの日程打合せ	飛ぶタネを飛ばそう(10月予定)の日程と活動場所について相談しました(参加会員: 1名)

～メンバーからのメッセージ～Vol. 39～

秋に実施する予定のタネを飛ばそうは、昨年初めて実施してとても好評でした。アトリウムから実際に飛ばしてみると、みんなが作った種の模型がひらひらと落ちてくる様子が観察できて、とてもきれいでした。今年もたくさんのタネを飛ばしたいと思います。

(澤邊)

【活動予定】

活動内容	実施日	タイトル	内容
準備	10月	イベント準備、練習	飛ぶタネを飛ばそう(10月予定)に使う飛ぶタネを集めて、模型作りの練習をします。
登録講座	10月15日	はしかけ登録講座	活動紹介をします。
はしかけイベント	10月28日OR 29日(予定)	飛ぶタネを飛ばそう!	秋にはたくさんのタネが実ります。風に乗って飛ぶタネを観察して、模型を飛ばしてみよう!
はしかけ活動	11月(リニューアル閉室前)	障子の張り替え	リニューアル前最後の障子の張り替えをします。
ディスカバ補助	11月25日(土)	はたきを作ろう!のサポート	毎年恒例はたき作り。今年はディスカバ閉室前最後の土曜日に実施します。

ディスカバリールームで「こんな楽しいことしたい!」などアイデア・提案があれば、お気軽に澤邊またはディスカバスタッフまで声をかけてください。いつでもお待ちしております!

新しいメンバーも大募集中です。一緒に楽しい発見(ディスカバ)してみましょう!



(10) 里山の会

【活動報告日の活動会員数 31名】

グループ代表アドレス: satoyama@lbm.go.jp
(登録会員数: 39名)

グループ担当職員: 山本綾美

【活動報告】

■7月16日(日) 夏の里山体験教室 参加者23名 会員&職員 10名 計33名

琵琶湖博物館と、夏の里山体験教室を実施しました。博物館より八尋学芸員に参加いただき、虫の解説をしながらの昆虫採集。草原の昆虫採集の後は、森の中の昆虫採集です。前日に八尋学芸員が30か所も仕込んでおいてくれた昆虫トラップを子どもたちで宝探し風に搜索！



誰のカップにどんな昆虫が入っているかな？みんな夢中で眺めています。たくさん昆虫を捕まえて、十分観察させてもらった後、元気がなくなってしまう前にみんなで自然の中に返しました。お昼を食べながら、山本学芸員の森の話を聞いた後、お昼からは竹で笛などの楽器を作ったり、ハンモックの設置方法を教えてあげて、みんなで遊びました



■8月11日(金) 仕様道具の整理・虫干し 場所: 生活実験工房 参加会員: 5名

朝の天気を心配しつつ、布、ロープを、始めは工房の中で広げたが、昼からは外に出して、カラッとさせることが出来た。干しているあいだにノコギリの手入れをしようということになり、木粉とり、油塗り、数の確認等、普段出来ない事ができた。

参加していただいた方々、ありがとうございました。

(柳原)



■8月26日(土) 里山の会・夏祭り 参加会員: 16名

今日は心配した天気も朝には回復し、恒例の夏祭りが無事実施できました。ソーメン流しの装置は、博物館で調達した竹のおかげで桶を1本もので仕上げる事ができ、いい出来上がりでソーメンも順調に流れてくれました。人手の関係で釣りは午後に回しましたが、サシ虫のエサでバスとブルーギルの幼魚が面白いように釣れ、午後2時半のタイムリミットまで大人も夢中になっていました。後で数えると、57匹も釣れていました。釣りを午後に回して時間配分としてはちょうど良かったのではないかと思います。

なお、御存じのように水辺での遊びは楽しくても危険を伴いますので、大人の方は必ずお子様に目を配って頂いて、他人

任せにしたり自分が夢中になって目を離したりしないようにお願いします。お子様に対しての安全教育もお願いします。
とにかく今日は、楽しめた上に無事に終わってほっとしています。お疲れ様でした。(宮本)



【活動予定】

- 9月16 日(土) 他の里山活動の見学
- 10月9 日(月・祝) 里山体験教室(秋)下見
- 10月15日(日) 里山体験教室(秋)本番
- 11月19日(日) はしかけ秋の里山遊び
- 11月25日(土) そば収穫乾燥・草木染体験



(11) 植物観察の会

【活動報告日の活動会員数(のべ) 17 名】

グループ代表アドレス: shoku-kan@lbm.go.jp

グループ担当職員: 芦谷美奈子

暑い暑い夏が終わり、9月の初めに彼岸花が咲くなど、例年になく早い秋の訪れを感じています。
月に一度の集まりですが、毎回、植物三昧の時間を送る中で、新しい発見に満ちあふれる会になってきています。

【活動報告】

■8月6日(日)

参加会員: 9名

暑い時期ということで、各自が持ち寄ったものを観察しました。前半は、7月の続きでイヌタヌキモの捕虫のうの説明を聞きながら、再度観察。プランクトンの入った湖水を入れてもらいましたが、捕虫のうへ取り込む瞬間には出会えませんでした。その後、各自が持ち寄ったものを観察し、水草(ヒロハノエビモとササバモ、トリゲモとオオトリゲモのちがい等)を少しの時間だけ教えていただき、今後の予定を組みました。

■9月10日(日)

参加会員: 8名

芦谷先生と別の方に採ってきてもらった水草の勉強会をしました。
ハゴロモモ(外来種、最近あちこちで見られるらしい)の葉や花を分解し、図鑑と照らし合わせて観察。その後、クロモ、コカナダモの見分け方、イバラモの雄花、雌花、実(種子が1個入っている)の観察、センニンモ、オオササエビモ、マツモを見ました。

分別し、触っていくうちに手触りの違いや葉や根の付き方の違いも分かるようになりました。

たくさんの種類を観たり覚えたりするのは時間的にも難しいですが、少しずつ特徴をとらえながら同じものを繰り返し観ることも楽しみのひとつです。
水草の多くは、冬にかけて枯れて葉が無くなるものが多いということなので、次回の水草の勉強会は、来年の5~7月頃になる予定です。



イヌタヌキモ ↑

【活動予定】

- 10月1日(日) 13:30~16:00 「博物館の周りを観てみよう②」 場所: 琵琶湖博物館 実習室1 or 2
雨天の場合は、持ち寄ったものをみます
- 11月5日(日) 10:00~14:00 お出かけ観察会「秋」 場所: びわこ地球市民の森(守山市)

- ※ はしかけの方ならば、どなたでも参加できます。
- ※ 集合： 10:00 直接集合場所へお越しください。
- ※ 不明な場合は、ご連絡ください。（ 芦谷 090-7554-2249 ）

(注) 集合場所：細長い公園なのでちょうど真ん中辺りの駐車場に集合です（トイレ、自販機あります）。
明富中学校のグラウンドとなりで、「風みどり」喫茶店があります。
その喫茶店のすぐ横の広い（30台くらい）駐車場です。

(注) 基本的には、危険が無く雨でも歩ける所で、大雨や警報が出ない限り「行く」方向でいます。

★ 参加者募集中 ★

月に1回、第1日曜日の午後を予定しています。遠出の場合は、これに限らず、変則的になります。活動にご興味をお持ちの方は、メールにてご連絡ください。当日、直接来ていただいても構いません。外部で行う観察会は、年に数回、みなさんにも呼びかけを行う予定です。このニューズレターを見て、この活動に興味のある方は、メール（shoku-kan@lbm.go.jp）にてご連絡ください。活動日に、直接、活動場所や実習室へ来ていただいても結構です。



(12) たんさいぼうの会

【活動報告日の活動会員数(のべ) 21名】

グループ代表アドレス: keisou@lbm.go.jp

グループ担当職員 影の会長: 大塚泰介

【活動報告】

■8月6日(日)

参加会員: 9名

「琵琶湖の小さな生き物を観察する会」と合同で、琵琶湖の湖底で近年大増殖している底生糸状ラン藻 *Lyngbya wollei* (通称「ごはんですよ」) に付着する、あるいはそのすき間に生息する小さな生き物を調べました。当日朝、バス釣りガイドの前田純さんにとれたての「ごはんですよ」を運んでいただき、皆で手分けをして調査しました。半日でも、50種以上の生物が確認されました。微細藻類についてはまだ大雑把な同定しかしていないので、これから固定サンプルをよく観察して検討していきます。

会員は現在、各地の湿原の珪藻の写真を手分けして撮影しています。会員の1人が観察を依頼された、久美浜の化石珪藻のサンプルに、たいへん興味深い珪藻が含まれていました。何の種かここでは書けませんが、日本海の更新統からはおそらく初報告になる種です。サンプル1本を精査するだけで短報が書けそうです。瀬田公園（大津市）および藤ヶ鳴湿原（岡山市）の珪藻については、すでに一通りの写真撮影を終え、これから同定に入るところです。蝸牛の歩みではありますが、主役（主著者）を交代しながら、1つずつ確実に論文にしていこうと思います。

【活動予定】

1月に、「琵琶湖の小さな生き物を観察する会」と合同で、山門湿原に調査に行きます。たんさいぼうの会にとっては10年ぶりの再訪となります。現在、日程を調整中です。その他、引き続き個々の担当の顕微鏡写真撮影・整理・同定などを進めていきます。





(13) 田んぼの生きもの調査グループ 【活動報告日の活動会員数(のべ) 24名】

グループ代表アドレス: tambo@lbm.go.jp

グループ担当職員: 鈴木隆仁

今年の夏は例年よりゲリラ豪雨が多く、滋賀県内各地に何度か洪水警報が出ました。雷注意報や大雨注意報も頻繁に出ています。いよいよ日本も熱帯の仲間入りなのではないでしょうか。稲の生育も例年より早い気がします。このような気候変動は、田んぼの生きものの生活をどのように変えていくのでしょうか。

【活動報告】

■8月20日(日) 調査サンプルの同定会

場所: 博物館実習室

参加会員: 10名

今年の調査は、グループごとに県内各地に散らばって実施しました。それに伴って、調査票の束は9束にもなり、サンプル数も膨大です。台湾から来訪されたグライガーさんが一部の同定を手伝って下さいましたが、それでも残り27200本のサンプル瓶に皆恐れおののきました。参加者の内の数名は短時間の参加でしたので、約6名が丸一日かけて顕微鏡をのぞきました。

カブトエビ類の同定は、尾節背面後縁部のトゲで行います。アルコール固定された標本は、体が曲がっていてなかなか尾節後先縁部端が見えません。実体顕微鏡の下で両手にピンセットを持って尾を伸ばします。グライガーさんが残された「サンプルは、宝石ではないから壊さないようにと気を使わなくていい。」という言葉に助けられ、必死に取り組みました。しかし、アジアカブトエビとアメリカカブトエビのせめぎあいを見るため、各田んぼから10個体以上のサンプルという約束です。

■9月9日(土) 調査サンプルの同定会 2回目

場所: 博物館実習室

参加会員: 12名

メールによる調整を経て同定会第二弾を博物館休館明けの9月9日に実施しました。今回は説明の時間もなしに10時から全員黙々と同定作業に取り組みました。参加した小学生のお子さん二人も、顕微鏡で同定をしたり、アルコール瓶の用意をしたりと、ずいぶんと働いてくれました。朝から夕方まで顕微鏡をのぞき続けた方も5名以上。それでも・・・終わらなかったのです！ やはり、例年に比べてカブトエビ類のサンプル数が多いのが敗因、いえ、研究熱心の賜物…。ということで、同定会第3弾の実施を決定しました。

【活動予定】

■10月29日(日) 13:30～ 同定会3回目 同定終了までです。

あつてはいけないことですが、調査票がなくサンプル瓶だけのものがいくつかあります。採集した本人しかわからないと思いますので、調査に参加された方はできるだけ同定会に参加して下さい。サンプルを採集したら、調査票の整理、同定まで責任をもちましょう。



(石井千津)



(14) タンポポ調査はしかけ

【活動報告日の活動会員数(のべ) 0名】

グループ代表アドレス: h-tanpopo@lbm.go.jp

グループ担当職員: 芦谷美奈子

今年のタンポポのシーズンは終了しました。グループとしての活動は、あまり展開できませんでしたが、来年のシーズンに向けて準備をしようと考えています。調査だけに特化するのではなく、タンポポそのものを楽しむグループでもありたいので、名称の変更を検討しています。

<タンポポ調査はしかけ、継続活動中！ 次の調査までは、突っ込み型の取組みをしていきます！>

「タンポポ調査はしかけ」は、「タンポポ調査・西日本2015」というタンポポの参加型広域調査に協力しながらタンポポについて学ぶことを目的に作ったグループです。この「タンポポ調査・西日本」は、5年ごとに開催される広域の参加型調査で、2020年も実施される予定です。

2015年の調査は終了しましたが、2020年の調査をより充実した内容の濃いものにするために、「タンポポ調査はし

かけ」の活動は継続しています。2020 年の調査までに、広域調査の調査方法では調べることができない、タンポポの種類ごとの生態や、分布と環境との細かな関係性など、つつこみ型の調査や勉強をしていこうと考えています。

<2015 年の調査の結果を掲載したチラシ、報告書をご希望の方はお知らせください！>

「タンポポ調査・西日本 2015」の報告書および結果チラシをご希望の方は、上記アドレスあるいは芦谷まで直接お尋ねください。チラシを配布したいなどのご希望も、遠慮なくお知らせください。

<引き続きメンバー募集中！既存メンバーについてはMLを見直します！>

次回の調査（2019 年予備調査、2020 年本調査）を視野に、活動をしております。このはしかけグループでは、短期間の分布調査だけでは明らかにできないタンポポの疑問を、少しでも解決したいと考えています。開花期間が短いので、1 年の活動は 4 カ月ほどになるかもしれませんが、興味のある方の参加を引き続きお待ちしております！現在のメーリングリストを見直して、新たに連絡体制を整えたいと思います。メーリングリストに入れて欲しいというご希望の方は、上記アドレスまで連絡をください。

【活動報告】

8 月と 9 月は、特に活動はありませんでした。

【活動予定】

具体的に決まっている活動はありません。メーリングリストでお知らせします。



(15) 琵琶湖の小さな生き物を観察する会 【活動報告日の活動会員数(のべ)9名】

グループ代表アドレス:bck@lbm.go.jp

グループ担当職員:大塚泰介

【活動報告】

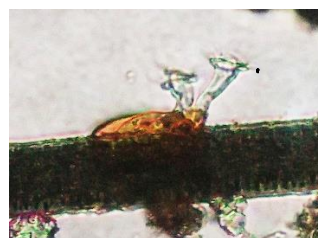
■8 月 6 日（日）

参加会員：9 名

今回は糸状の藻類、リングピアに付着している生き物について調査しました。普段の活動よりも参加者が多く充実した活動になりました。

リングピア（*Lyngbya wollei*）は藍藻の仲間で円盤状の細胞が細長く連なり、その周りに透明な鞘を持っているのが特徴です。琵琶湖では南湖の湖底に群生していることが有り、その集まった見た目は独特の姿をしています。今回の活動ではバス釣りのガイドの方にサンプルを採集していただき観察しました。

はしかけメンバー・見学者 9 名と学芸員 2 名で調べたところ 40 種群以上の生き物がリングピアから見つかりました。今後違う季節に観察してみると面白いのではないかという意見が出ました



シャーレに乗せたリングピア
(肉眼では黒い糸のように見える)

リングピアに付着している生き物たち

【活動予定】

■以降の開催日については未定です。

琵琶湖の小さな生き物を観察する会では月に 1 回、観察会を行っています。見学・参加希望の方はグループ代表アドレスまでお問い合わせください



(16) びわたん

【活動報告日の活動会員数(のべ) 44名】

グループ代表アドレス:biwatan@lbn.go.jp

グループ担当職員:奥野知之, 小林偉真

【活動報告】

■9月9日(土) 「葉っぱの形に注目しよう！」

参加会員:44名

当日は、天候もよく屋外展示を利用する今回の活動には絶好の天気となりました。今回のねらいは、様々な木の葉について形や手ざわりなどの特徴に気づくこととお気に入りの葉っぱを使ってオリジナルのハンカチを作ることです。



まずは、博士から葉っぱのことについて教わりました。観察のポイントとして

- ①葉の形
- ②葉のギザギザ(鋸歯)
- ③葉のすじ(葉脈)

についても教わりました。

つぎに、屋外展示に出かけ、教わった観察の視点で葉っぱの観察と採集を行いました。小さな子どもさんが多く、お父さんやお母さんが声をかけながら、葉っぱの特徴を子どもさんに話しかけられる姿が見られ、たいへんよかったです。しかし、屋外展示で蚊がたくさんいたため、ゆっくり観察することは難しかったです。

最後に、葉っぱ模様のハンカチづくりをしました。それぞれお気に入りの葉っぱを並べて、模様を作ったり、葉脈を出すためにしっかりこすったりと親子で楽しく取り組まれる姿が印象的でした。よい作品がたくさん出来上がり、みなさん満足されていたように感じました。身近なところにある葉っぱにも目を向けてもらえるきっかけ作りができたのではないかと思います。



【活動予定】

■10月14日(土)「骨にふれてみよう！」

■11月11日(土)「秋の色探しをしよう！」



(17) ほねほねくらぶ

【活動報告日の活動会員数(のべ) 14名】

グループ代表アドレス:hone-hone@lbn.go.jp

グループ担当職員:松岡由子, 高橋啓一

【活動報告】

■7月22日(土)

参加会員:3名

イタチの解剖、カラスの解剖、フナ組立を行いました。魚の骨、特にその頭部の骨などは、普段扱っている哺乳類の骨と比べると、薄い板状になっている物が多く、それが大きな頭の骨(頭蓋骨)を核にして集まって、魚の頭を形作っている様に見える。

哺乳類の骨を見ていると、自分たちとの共通点が感じられるからなのか、不思議に思わなかったのだが、魚類の骨を作っていると、その形でどのように動いているのかが改めて不思議に思えてきた。自分達との違いに気付く一方で、やっぱり似ているなと思う所もあって、なんだか生き物の歴史を垣間見たようで興味深く感じた。

■8月6日(日)

参加会員:3名

イタチの解剖、ハクビシンの解剖、カラスの解剖を行いました。

■8月26日(土)

参加会員:5名

カルガモ、イタチ、カラスの解剖、フナ組立、シカとコウライキジとイタチの骨の洗浄、を行いました。

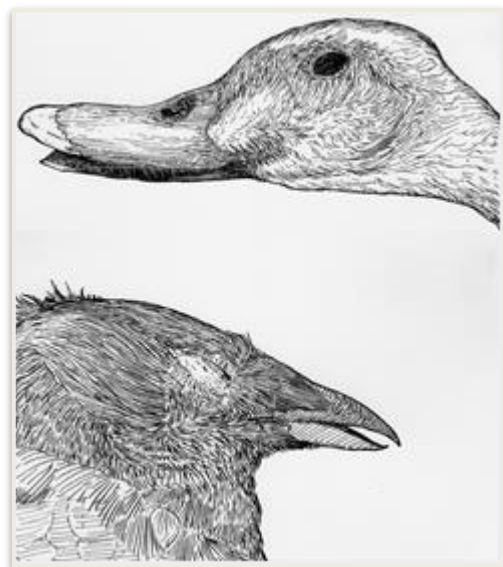
■9月9日(土)、

参加会員:3名

カルガモの解剖、ハクビシンの解剖、タヌキの骨のクリーニング、冷凍試料の確認、リスト制作を行いました。

作業をしていると、自然と生き物の話が発生し、それがどんどんと転がるようにしてあっちへ行ったり、こっちへ行ったりとする事があります。

皆さんそれぞれ興味を持ってこられたものが違ったり、詳しい分野が違ったりするのですが、だからこそなのいろいろな角度からの生き物のお話を聞いていると、知識や学びというものはいこうやって広がって行ったりするものなのかなと思えてなんだか楽しくなってしまいます。



▲ カルガモとカラスの幼鳥です。
(状態が悪かったのでイラストです。)
イラスト: 西村有巧

【活動予定】

■9月24日(土)に活動を予定しています。

■10月の詳しい活動日は現在未定ですが、月に2回程度、土曜日・日曜日に活動を予定しております。



(18) 緑のくすり箱

【活動報告日の活動会員数(のべ) 23名】

グループ代表アドレス: midori-k@lbm.go.jp

グループ担当職員: 大槻 達郎

【活動報告】

■8月

活動はお休みでした。

■9月18日(月) 13:30~

総会

場所: 生活実験工房

参加会員: 23名

9月に植物染めを行う予定でしたが、9月18日(月)に総会を開き、以後の活動の日程を調整することになりました。5月に漬けたドクダミのチンキや、6月に漬けたビワの葉と種のチンキが、そろそろ使用できる時期となりました。チンキはいろいろなものに活用できます。チンキの活用については、昨年も交流しましたが、水で薄めて化粧水を作ったり、ミツロウやオイルを湯煎で溶かし、チンキを加えたクリームを作ったりできます。また、濾した後のドクダミ、ビワの葉は、ネットに入れお風呂に入れることができます。

【活動予定】

■10月

朽木の森 散策

■12月

柚子胡椒作りと薬草ピザ作り





(19) 森人(もりひと)

【活動報告日の活動会員数(のべ) 13名】

グループ代表アドレス: morihito@lbm.go.jp

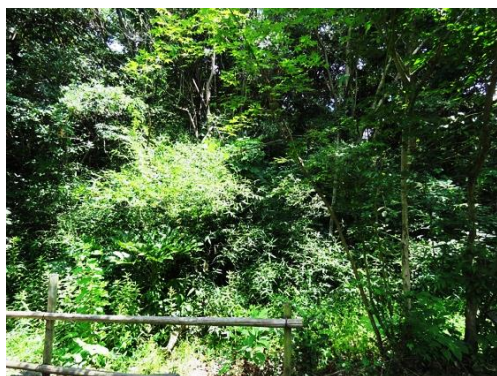
グループ担当職員: 林竜馬

【活動報告】

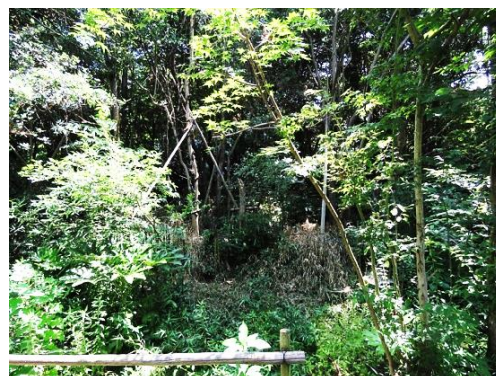
■7月22日(土) 13:30~16:00 タケの伐採 場所: 生活実験工房 参加会員: 2名 職員: 2名 計4名

田んぼの西側および落葉広葉樹の森で実施した。昨年8月にはじめて刈り取った後、今年は細い稈が多数出ている状況であった。特に南側の陽の当たる場所は、多くの樹木の陰で日光がさえぎられている場所は少なかった。タケは伐った節から出た枝と地面から出たものでいずれも直径1~2cm前後のものが多く、ノコや剪定ばさみで容易に切ることができた。暑い中、やぶ蚊とナワシログミの鋭いとげに邪魔されながらも1.5時間程度で作業を終えた。

その他、昨年の伐採で陽当たりが良くなったせいか、ナワシログミの幼木が増えているように感じた。人が手を加えることにより、森の植物が変わっていく様子が垣間見えた。



写真左: 落葉広葉樹の森のタケ伐採前



写真右: タケ伐採後

■8月12日(土) 13:30~15:30 樹冠トレイルに設置する案内板の打ち合わせ 場所: 生活実験工房、
参加会員: 2名 職員: 1名 計3名

トレイル案内板は、現時点で植物図鑑としてシイ・カシ類、クス・タブ類、落葉樹類の3枚。動物図鑑は鳥類、哺乳類および昆虫類の3枚。縄文・弥生の森と縄文人、烏丸半島から見る琵琶湖の2枚の合計8枚を作製する予定である。森人の活動として、植物図鑑、動物図鑑の原案作成と、樹冠トレイルから見える個々の樹木の解説板(A4ラミネート版)の作成を行う。

■9月9日(土) 13:30~16:00 わくわく探検隊「葉っぱの形に注目しよう!」に参加 場所: 実習室・展示の森
参加会員: 5名 職員: 1名 計6名

- ① 参加者と屋外の森に出てプリントに使用する葉っぱの採集を手伝い、植物の説明などを行った。
- ② 森人の打ち合わせ: 樹幹トレイル案内板の作業分担と今後の予定の確認を行った。

【活動予定】

■9月23日(土) 休止

■10月7日(土) 13:30~16:00 場所: 生活実験工房 内容: トレイル案内板の原稿案検討

■10月29日(日) 10:00~15:00 場所: 京都市左京区下鴨半木町 内容: 京都府立植物園見学会

- ★ 森が好きな人、植物や昆虫など生き物が好きな人、専門知識は不要です。はしかけ“森人”に参加しませんか。
- ★ 参加を希望される方は 森人(もりひと) morihito@lbm.go.jp にご連絡ください。



7月のちこあそは、1学期が終了してもう夏休みに入った、小学生のお兄ちゃんやお姉ちゃんも一緒に来てくれました。お兄ちゃんたちがいると活動が少しダイナミックになり、ちいさな子どもたちもいつものように恐る恐るというより、ドンドン自然に関わっていきます。

朝一番で、畑で大きく育ったジャガイモ堀り。バンダナおじさんのご指導で、土の中を探ると…コロコロ、ジャガイモが出てきました！ジャガイモを掘りながら、ミミズやオケラなどの生き物にも興味津々。きなミミズを持ち上げたり、すぐに土に潜ってしまうオケラを追いかけたりと、畑の自然を楽しみました。畑の後は、ルーペをぶら下げながら森を探検して、涼しいディスカバリールームへ。森の生き物と、展示物の生き物の違いを楽しんだり、お母さんとおまごをを楽しんだりしました。

遊んで生活実験工房に戻ると、バンダナおじさんがさっきのジャガイモを茹でておいてくださりました。フカフカホクホクの掘りたてジャガイモ。みんなパクパクパク、すぐになくなってしまいました。美味しかったですね！

お昼からも、ガチャコンポンプで水遊び、虫捕りと、たっぷり遊んで汗もいっぱいかいておしまいです。※ちこあその活動では、幼児の自然への関わり方の研究もしています。子どもたちの自然の関わり方、博物館での展示物への関わり方を追っています。

※ 8月はちこあそはお休みでした。(夏休みもやって欲しい！という要望は多いのですが。。なかなか予定が立たず)

【活動報告】

	実施日	タイトル	内容
7月	7月19日(水) 10:00-14:00	夏をいっぱい感じよう ちこあそ7月	ルーペでの自然観察、森の探検、工房の食体験など 参加者：メンバー4人、子ども10人、保護者7人、学生1名

【活動予定】

活動内容	実施日	タイトル	内容
9月	9月20日(水) 10:00-14:00	ちこあそ9月	ルーペでの自然観察、森の探検、工房の食体験など やさしい自然遊びを子どもや保護者の方とゆっくり、ボチボチします。
10月	10月18日(水) 10:00-14:00	ちこあそ10月	ルーペでの自然観察、森の探検、工房の食体験など やさしい自然遊びを子どもや保護者の方とゆっくり、ボチボチします。
11月	11月15日(水) 10:00-14:00	ちこあそ11月	ルーペでの自然観察、森の探検、工房の食体験など やさしい自然遊びを子どもや保護者の方とゆっくり、ボチボチします。

【活動写真】

☆ 新しいメンバーも飛び入りも大募集中です。一緒に子ども達と遊びましょう！



ジャガイモ堀りの様子です



アマガエルを捕まえたよ！（けど、ちょっと苦しそう）



アトリウム前の池も、遊び場。発見がいっぱいあるよ。オタマジャクシがたくさん泳いでました。カエルさんになれるかなあ



サトイモの葉っぱは不思議だね。水をいれると、はじいてる。水玉がコロコロ転がって、濡れてるような濡れていないような。



(21) 近江 巡礼の歴史勉強会

【活動報告日の活動会員数(のべ) 17名】

グループ代表アドレス: junrei-rekishishi@lbm.go.jp

グループ担当職員: 橋本道範, 渡部圭一

【活動報告】

- 7月11日(火) 場所: 土山町16か寺 参加者: 2名

寺院訪問と札所石碑の調査を実施。兼帯はあるものの護持管理に問題ない様子である。ほとんどの寺院で札所石碑が現存している。その上で新たに石碑を建立している寺院もある。
- 7月12日(水) 場所: 水口町・甲南町10か寺 参加者: 2名

寺院訪問と札所石碑の調査を実施。ほとんどの寺院で札所石碑が現存している。特に、杣中の福龍寺ではご住職とお会いし准四国のお話もすることが出来た。
- 7月13日(木) 場所: 水口町 参加者: 1名

「近江 巡礼の歴史勉強会」のFacebook ページの開設
- 7月17日(月) 場所: 水口町・土山町9か寺 参加者: 1名

寺院訪問と札所石碑の調査を実施。兼帯はあるものの護持管理に問題ない様子である。
- 7月20日(木) 場所: 湖南市12か寺 参加者: 2名

寺院訪問と札所石碑の調査を実施。東寺の長寿寺では、ご住職のお母様とお会いすることが、出来て保存状態の素晴らしい掛額を拝見した。准四国の調査についての協力要請にも快くお引受け下さいました。
- 7月22日(土) 場所: 水口町 参加者: 1名

調査結果のまとめ。准四国の石碑などの有無や現在の各寺院の様子を表にまとめる。
- 7月24日(月) 場所: 信楽町その他5か寺 参加者: 2名

寺院訪問と札所石碑の調査を実施。甲賀准四国設置由来に記載されている98か寺を全て訪問した。痕跡を見つけれない廃寺は4か寺、老朽化が甚だしい寺院は2か寺である。特に平成25年の台風被害で廃寺になった最勝寺は、誠に残念である。
- 8月17日(木) 場所: 琵琶湖博物館 参加者: 4名

各寺院訪問結果の報告と今後の進め方について打ち合わせを実施した。
- 9月3日(日) 場所: 安土城考古博物館 参加者: 2名

「西国三十三所観音巡礼の世界」の講演会に参加。巡礼研究者の興味ある講義を拝聴した。



妙楽寺の石碑



長壽寺の掛額



廃寺になった最勝寺

【活動予定】

グループの年間活動計画で予定している中間報告会と勉強会を、9月26日（火）午後1時30分より琵琶湖博物館の会議室にて実施する。

※ この活動に興味のある方は、上記メールアドレスにてご連絡ください。

（福野憲二）



(22) 虫架け

【活動報告日の活動会員数(のべ) 25名】

グループ代表アドレス:mushikake@lbn.go.jp

グループ担当職員:八尋克郎

【活動報告】

■7月22日（土）11:00～21:30 野外調査・灯火採集 高島市朽木にて 参加会員：8名

朽木の昆虫分布調査をしました。

日中は気温が高すぎたためか、観察できた昆虫はやや少なめでした。

夜の灯火採集ではガ類、甲虫類等、多くの種類を確認できました。

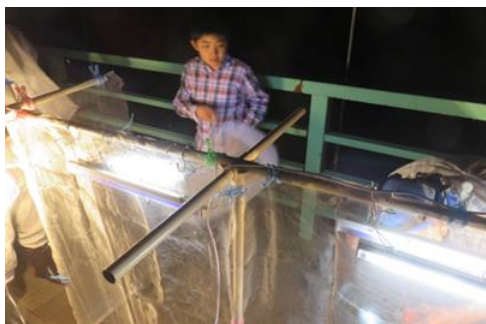
■7月23日（日）10:00～12:00 琵琶湖博物館 生活工場の昆虫講座のお手伝い 参加会員：8名

たくさんの親子が、生活工場の田んぼや周辺の昆虫を、熱心に観察・採集してくれました。

■8月19日（土）11:00～21:30 調査・灯火採集 高島市朽木にて 参加会員：9名

朽木の昆虫分布調査をしました。日中は、トンボ類やバッタ類を多く観察・採集しました。

夜の灯火採集ではガ類、甲虫類等、多くの種類を確認できました。



ブラックライトで虫を集めました



光に誘われて集まった虫たち

【活動予定】

今後、1か月に1回程度の野外調査、2か月に1回程度の室内勉強会を予定しております。詳細は検討中です。ご興味をお持ちの方は、グループ代表アドレスまでご連絡ください

4. 生活実験工房からのお知らせ

担当職員: 下松孝秀

生活実験工房の田んぼでは、“みずかがみ”の稲刈りが終わり、晩稲品種である赤米や、羽二重餅も実をつけてきました。その後の収穫祭に向けての準備も進めています。10月から翌年3月までの行事日程をお知らせします。フィールドレポーターやはしかけの方の参加をお待ちしています。

【活動予定】

- 10月 8日(日) モチ米の稲刈り
- 11月26日(日) 収穫祭
- 12月23日(土祝) しめ縄づくり
- 2月11日(日) わら細工
- 3月10日(土) 一年間のふりかえり
-

※開催時間：全行程とも 10:00～12:00 場所：全日程とも生活実験工房

※一般参加者の受付は、**9:30**です。

※稲刈りについては、各自、長靴、着替え等をご用意ください。



《収穫祭のお知らせ》

11月26日(日) 10:00～12:00

※一般受付は、**9:30** 生活実験工房にて
どなたでも ご参加いただけます。

5. その他の事項

(1) メールアドレスとホームページアドレスの変更について

びわ博の情報システム変更にもなっており、11月からメールアドレスとホームページアドレスが変更になります。新しいメールアドレスは「***@biwahaku.jp」、新しいホームページアドレスは「<http://www.biwahaku.jp>」です。なお、メールアドレスについては、現在のアドレスもしばらくはお使いいただけます。

11月になりましたら、**設定等の変更**をお願いいたします。

(2) はしかけグループの活動に初めて参加する場合

ニューズレター発行後、活動日・活動場所が変更になる場合があります。グループの活動に初めて参加する時は、事前にはしかけグループ担当者に確認をお願いします。メールの場合は、グループ代表アドレスにご連絡ください。

(3) 名札（会員証）の写真について

名札（会員証）の写真を更新されたい方は、はしかけアドレスの hashi-adm@lbn.go.jp まで送って下さい。ただし、必ず本人確認ができるものに限りです。

(4) 会員証の携帯のお願い

はしかけ活動で来館する場合は、会員証を必ず持参してください。会員証を携帯せずに活動することは、原則的にできません。

(5) 活動中に事故が起きたら

加入者カードに書いてある連絡先（社会福祉法人 滋賀県社会福祉協議会 TEL: 077-567-3920 FAX: 077-567-3923）へ、速やかに連絡してください（各人で連絡）。手続きには、グループ担当者（学芸員）の活動証明が必要です。各グループの担当者まで連絡してください。詳しくは、平成29年度の「ボランティア保険」パンフをご覧ください。パンフは、はしかけ事務局（博物館学芸事務室）にもあります。

はしかけ登録講座開催のお知らせ

はしかけ会員みなさまには、是非、お知り合いや他の活動団体の方々に、はしかけ制度への参加をお誘いください。はしかけ制度に参加するためには、登録講座を受講していただく必要があります。登録講座の日程は、次のとおりです。

日 時： 平成29年10月15日（日）13:30～ （当日受付：13:15より）

場 所： 琵琶湖博物館 セミナー室

対 象： どなたでも （18歳以下の方は、保護者の同意が必要です）

費 用： 無料

※ 登録講座では、琵琶湖博物館の理念や活動、はしかけ制度についての説明、各グループの活動が紹介されます。

講座終了後、はしかけ会員との交流会「はしかフェ」にも参加していただくことができ、交流会の中で、参加したいグループを探していただけると思います。
お茶やお菓子も用意いたします。気楽にお誘いのうえ、一緒にご参加ください。

